

2024年3月

医療関係者 各位

堀井薬品工業株式会社

## 硫酸バリウム製剤 限定出荷のお知らせ

謹啓 平素は弊社製品に格別のお引き立てを賜り有難く厚く御礼申し上げます。

さて、弊社硫酸バリウム製剤につきまして、原料の調達遅延により生産の調整が困難なことから、限定出荷をせざるを得ない状況であると判断し、特約店様への出荷を調整させていただきます。本出荷調整に伴い、既存のお得意様への供給を継続させていただくため、新規でのご採用は辞退させていただきたく存じます。また、特約店様におかれましてもご要望にお応えできない状況が発生する可能性がございます。

なお、限定出荷の解除時期につきましては、確定次第、改めてご案内させていただきます。

このたびは、医療関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけすることとなり、心より深くお詫び申し上げます。何卒、事情ご賢察の上、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

謹白

対象製品の詳細については次頁に記載

■対象製品

製品名	包装	統一商品コード	出荷量の状況	製造販売業者の対応状況
硫酸バリウム散 98.8%「利仁」	*300g×24	320603363	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
集検用 硫酸バリウム散 98.8%「利仁」	1.2kg×6	320603431	B.出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）
	300g×30	320603400	B.出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）
	900g×12	320603387	B.出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）
硫酸バリウム散 97.5%「利仁」	*270g×24	320604520	B.出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）
集検用 硫酸バリウム散 97.5%「利仁」	270g×30	320604568	B.出荷量減少	②限定出荷（自社の事情）
	1kg×12	320604582	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
	1kg×10	320604544	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
バリコンミール	300g×24	320603134	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
	400g×24	320603110	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
集検用 バリコンミール	1.2kg×10	320602779	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
	300g×30	320603189	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）
	1.2kg×6	320602656	A.出荷量通常	②限定出荷（自社の事情）

\*出荷割当て枠を弊社の方からご提示致します。

■お問い合わせ先

堀井薬品工業株式会社 業務部

大阪市中央区内淡路町 1-2-6

TEL：06-6942-3482

以上

日薬連発第 137 号（2023 年 3 月 1 日）より

「医療用医薬品の供給状況に関する用語の定義」の見直しについて

(1) 出荷量\*1 の状況

A プラス、出荷量増加	比較対象期間の出荷量*2 又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 110%以上の出荷状況
A. 出荷量通常	比較対象期間の出荷量*2 又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 90%以上 110%未満の出荷状況
B. 出荷量減少	比較対象期間の出荷量*2 又は市場予測による予定出荷量と比較して概ね 90%未満の出荷状況
C. 出荷停止	市場に出荷していない状況
D. 販売中止	当局へ「薬価基準取載品目削除願」を提出し、薬価削除に向け対応を行っている状況

\*1 出荷量とは、出荷可能量（出荷量+自社在庫量）とする。

\*2 比較対象期間の出荷量とは、原則として前年度（4 月～3 月）の月平均出荷量とする。

但し、季節性製剤や新規取載品目、直近の期間で急激な需要の増減があった製剤などについては、市場予測による予定出荷量など、各社で妥当な定義を設定して差し支えない。

(2) 製造販売業者の対応状況

① 通常出荷	すべての受注に対応できている状況
② 限定出荷 (自社の事情)	自社の事情*1により、すべての受注に対応できない状況*2
③ 限定出荷 (他社品の影響)	他社品の影響*3等により、すべての受注に対応できない状況
④ 限定出荷 (その他)	その他の理由*4により、すべての受注に対応できない状況
⑤ 供給停止	様々な理由により、供給を停止している状況

\*1:「自社の事情」とは、製造販売業者の責任の範囲内の事情（原薬を含む原材料の調達トラブル、製造トラブル、品質トラブル、行政処分など（製造委託先も含む））

\*2:「すべての受注に対応できない状況」とは、新規顧客の注文や増量受注の辞退など

\*3:「他社品の影響」とは、他社品の出荷量減少等に伴う自社品の需要増など

\*4:「その他の理由」とは、季節性製剤や一過性需要過多、災害等による被害など